



2014~15年度 D-2700 No. 11

2014年 9月 26日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“ロータリーに輝きを”

R.I.会長：ゲイリー・C.K.・ホアン氏
(所属：台北RC)

地区テーマ：“あたたかき心を常に抱いて”

地区ガバナー：熊澤 淨一 氏（所属：小倉東RC）
クラブテーマ：“みんなで支える明るいロータリー”

会長 小島 康匡 /幹事 角南 雅徳



表紙写真説明(テーマ/北九州いろいろ):黒崎城址:黒崎城は、江戸初期に豊前への押さえのために築かれたが、築城から僅か15年後に一国一城令によって廃城となった。元文3年(1738年)城の石垣は新田開作用の護岸(黒崎駅付近)に使用され、今では山頂に石垣がわずかに残るのみとなった。今年も「黒崎一夜城」が築かれ、10月10日から19日までの期間ライトアップされる予定である。
【撮影:高須 2014年9月2日】

【撮影：高須 2014年9月2日】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

会報・雑誌委員会 委員長：高須 芳史

副委員長：佐久間 廣和

委員長：長森 健・増田 真也・外堀 隆博・田中 信也・中島 裕幸

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会第3188回

- ・ロータリーソング
“2700 のマーチ”
 - ・卓話
八幡ぎょうざ協議会会長 畠中 聰之 氏
『八幡ぎょうざ伝説』

< 第3186回 例会 記録 >

9月 12日(金) 普通例会

- #### ・ロータリーソング “我らの生業”

会長の時間

小島廳錄

8月22日の例会の「会長の時間」で、小倉RCの歴史をほんの少しだけお話をさせていただきましたが、今

日はその続きを話してみたいと思います。話の出所は、前にも取り上げました『30周年誌』で、そこに書かれていました座談会からです。この座談会が行なわれたのは、昭和53年(今から36年前になりますが)1月17日、小倉ホテル“椿の間”で、7名の会員の方が出席され、「むかしと今」というタイトルで座談会をされておられます。この参加者7名のうち、4名の方は創立会員、すなわちチャーターメンバー(Charter Member)で、また、残りの3名の方も創立後5年以内に入会された方々ばかりで、当時のことをよく覚えておられ、話の内容も大変面白いものでした。その中から、小倉RCの創立のいきさつと初めの頃の例会場などについて、ご紹介させていただきます。

(1) 小倉 RC 創立のいきさつ

戦前の北九州にはロータリークラブとしては門司クラブだけがありました。日本でのロータリークラブの復帰が承認されたのは昭和24年3月ですが、その頃、井筒屋の社長であった村上巧児さんという方が戦前の門司RCの会員であったようで、その村上さんから会社での後輩でもあり井筒屋の常勤監査役であった橋本良

資さんという方に、“おれも(門司の)会員だったけれども、ロータリークラブというものは、なかなかいいものだから、小倉にも橋本君、ぜひクラブを作りなさい”と言われたようです。それがきっかけで、井筒屋の応接室で橋本さんを中心にして、地元の有力な方々が話し合われた結果、小倉RCは昭和24年11月26日にメンバー29人でスタートしたようです。(なお、橋本さんは昭和28年に逝去されています。また、門司RCも同じ頃に復活しています。)

(2) 初めの頃の例会場と事務局

このような経緯から、小倉RCの例会の会場は、井筒屋の地下にささやかな食堂があり、その一部が例会場となったようです。それから2年後の昭和26年7月に井筒屋の増築に伴って、例会場が6階の食堂特別室に移動(地下から6階へ上がったのですから昇格したと言ってもいいのでしょうか。)し、この例会場には、昭和37年に小倉ホテルができてそこへ移るまでお世話になったようです。また、クラブの事務局ですが、創立当時は井筒屋さんの事務室の中にあったようです。クラブの会員がそこでうろついていると、外部の人から見ると井筒屋の社員ぐらいに思われるかも知れないと言つておられ、ずいぶんのんびりした時代だったようですね。そして、クラブの事務も井筒屋の職員の方を使ってしていましたので、事務費がタダだったとか。こんなことを聞きますと、われわれ小倉RCのメンバーはあまり井筒屋さんの悪口は言えないですね。

丁度、時間が来ましたので、これまでとさせていただきます。

幹事報告

角南 幹事

・10月10日(金)の例会を12日(日)に変更して、秋の登山清掃をいたします。先日のクラブ・フォーラムで話し合っていたいた結果、この清掃登山をロータリーデーの活動とし、今回は広く一般の方にロータリーをアピールすることにしました。本日、皆様にご案内のチラシをお配りしていますので、ご家族や職場の方、友人等をお誘いください。集合場所が、JR門司港駅から徒歩8分の旧大連航路上屋という会場ですのでお気を付けください。

- ・先週に引き続き、広島豪雨災害の募金箱を会場前に置いていますので宜しくお願ひ致します。
- ・以前例会にて卓話をしてくださったトーストマスタークラブの方が、会の案内とプレゼンテーション講座開催の案内をされています。英語スピーチに興味のある方は、事務局にパンフレットがあります。

出席報告

岩辺 委員長

2014年7月1日：59名でスタート

会員数	本 日 出席者数	出席率	前々回修正 出席 率
65名	37名	63.79%	84.48%

◆ビジター 0名

◆ゲスト 1名

・田村 志朗 氏 (第2700地区インタークト委員会
副委員長)

ニコニコ献金

東 副SAA

26,000円 : 累計金額 188,480円

田村 志朗君(福岡東RC)

本日は卓話におまねき頂き、ありがとうございます。

八尋 重治君

第2700地区インタークト委員会副委員長の田村様には本日の卓話を快くお引き受け頂きまことに有難うございます。

原田 光久君

6日の楽馬会、妻と運転手さんと昼食、有難うございました。2レースから4レースまで馬単(100円)全馬に賭けて余り負けませんでした。田中作次元R I会長の来られる会に行きますので、例会は欠席します。

松永 浩君

重松様、先日の楽馬会ありがとうございました。今回、家族で参加させて頂き、ありがたく取らせて頂きました。なんと娘は4戦全勝!複勝ですが馬の名前のみで「名前がかわいい!」と言って勝っている姿に便乗して私も名前だけで選んだら大きく取らせて頂きました。しかし、毎回新聞を読んで分析していた自分自身は迷走中です。

増田 雄一君

本日所要にて早退させていただきます。
ペコペコです。

木曾 長君

9月3日(水)、東京羽田RCでマークし、バナーを交換してきました。

村上 充生君

楽馬会、重松さんお世話になりました。万馬券を的中させたTさん、ビールご馳走様でした。

前年度会計報告

小島 前財務改革委員長

お手元の前年度の決算報告をごく簡単にご報告させて頂きます。先週の理事会において会計監査を受けた後、理事会には報告し承認を頂いております。収支の

概況ですが、収入が 19,604,000 円に対して支出が 20,750,000 円あります。その結果として、収支差額は、-1,146,000 円となっております。次期繰越金が -1,077,000 円となり、クラブの厳しい財政状態を示しています。ただ、補足して説明しますと今季の支出の部の中に前年度の修正損が 2,126,000 円計上されておりまますので、もしこの損失がなければ当期収支差額は 981,000 円のプラスとなっているということです。これは、昨年の秋以降の経費節減等に努めた結果、クラブの収支状況が好転していることを示していると思います。それから、各項目の中で二点だけ付け加えさせていただきます。収入の部の特別献金におきまして 280,000 円が計上されていますが、ニコニコ献金の内、寄付額が 3 万円以上はクラブの特別献金規定に従って全て特別献金として取り扱っております。その内訳は二村前会長、松本前幹事からそれぞれ 10 万円と、本村会員からの傘寿の祝い金 8 万円を受入れたものです。それから、支出の部で親睦活動費がマイナスになっております。本来であれば予算を当ててプラスで上がっていないといけませんが、昨年 12 月以降、原則受益者負担として会費収入でまかなう形で、新たに申請しないという風にした結果、そういう風になっています。ただ、主な要因として、昨年年末の年忘れ夜間例会でのオークションでの収益金が 103,000 円、春に行われた洗心会の余剰金 41,000 円がありまして、合計 144,000 円を親睦活動の科目からマイナスしたためにこういう結果になっています。報告書を見られまして、もし何かご意見、質問等がありましたら後程私の方に言っていただければご説明差し上げます。よろしくお願いします。

委員会報告

国際奉仕委員会

荒木 米山記念奨学会委員長

本日は、幹事から広島の義援金のお願いがありましたが、米山記念奨学会からも募金のお願いです。来月は米山月間になります。昨今、我々のクラブからは年間一人当たり五千円を寄付していますが、先日もお話がありましたように米山奨学会の財政が厳しいということでプラスなにがしか出来ないかということで昨年から募金箱を廻してご協力をお願いしています。今年も本日と来月 17 日の2回募金箱を廻しますので是非ご協力をお願いいたします。

親睦活動委員会

中島会員

今日は洗心会のご案内です。手元の資料の通りですが、お酒を媒体として心を酌み交わしながら青春を語ろうということでスタートした会です。私も昨年の 11

月にクラブに入れて頂きまして 2 回出席をいたしました。日頃お話ができない会員の皆様とのお話が深められた有意義な会だと思っております。今回特に 7 月以降お入りになりました合馬さん、山本さん、有岡さん、草刈さん、小倉さん、藤田さんにおかれましては是非積極的にご出席を頂ければと思っております。お酒も美味しい季節になりましたので、是非皆様美味しいお酒、珍しいお酒等がございましたらお持ち頂いて盛り上げたいと思います。是非ご協力をお願いします。

会員卓話

第 2700 地区インターラクト委員会副委員長

田村 志朗 氏 (福岡東RC所属)

「未来のロータリアンを創る

～インターラクト事始め～」

青少年部門 全体の話

青少年部門は 5 大奉仕部門の中の第 5 番目の部門である。指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。2013 年規程審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」言葉が変更された。



インターラクトの歴史

1933 年、RI は時の初代 RI 事務総長であるチェスター・R. ペリーの意見を入れて、少年週間を青少年週間に変え、青少年奉仕委員会を設けた。1959~60 年度の RI 副会長だったウイリアム・R. ロビンスが、メルボルン RC の指導で運営している高校生の集まり『ホイール・クラブ』に着目した。国際ロータリー、ハロルド T. トーマス会長年度(1959~60)において 5 人からなる特別委員会(チャールズ・ティラー委員長)を発足させて必要な研究を行ない、理事会に報告して貰うことになった。こうして 1961~62 年度理事会は『ロータリー・クラブはその自由意志に基づいて青少年クラブを結成し、そのスポンサーになんでもよい』というプランを採択。インターラクトがここから始まった。

1962 年米国フロリダ州メルボルン・ハイスクールに世界で初めてのインターラクト・クラブ(IAC)が、10 月 28 日に結成、23 人でスタートした。

日本で最初の IAC は、1963 年 6 月 27 日に創立した、宮城県の仙台育英高校 IAC (現仙台育英学園高校 IAC)

である(100人を超える人数で誕生)。このIACは当時、世界最多の会員数を擁していた。仙台育英学園高校IACは、誕生してすぐ清掃活動や小さな親切運動などの様々な活動を展開し、1967—68年度「インタークト国際ロータリー賞」を受賞した。

また、IAC設立後海外留学が活発に行われるようになり、地区の青少年交換制度を促進するという効果もたらした。

2番目は京都八幡IAC(現西京商業高校IAC)、創立は1963年6月28日で、仙台育英高校IACとはたったの1日遅れで創立されている。

インタークトの定義

奉仕と国際理解に貢献する青少年のために、ロータリークラブが提唱した世界的な青少年団体で、高校に在学中の生徒、または年齢12~18歳までの青少年が入会できる奉仕と交歓の為のクラブである。若世代が社会生活に積極的な関心を持つとともに、指導力を培う機会となるようにロータリーが提唱したのがインタークトである。Interactとは「国際的活動」(International Action)を意味する。

インタークトのプログラムでは、全てのクラブが指導力の開発、社会奉仕、国際理解の拡張を目指す活動を実施する。毎年少なくとも2つの主要な社会奉仕プロジェクトを行い、そのうちの1つは学校または地域社会への奉仕、もう1つは国際理解と親善を推進するものとされている。プロジェクトを通じて、インタークトは地域社会や海外のクラブと友情のネットワークを構築し、そのプロセスの中で指導者としての技能を磨き、一生懸命働くことの価値を学ぶ

2700地区の取り組み

1) 地区研修会 (例年 7月初旬の土曜日)

参加者:IAC顧問教師、提唱RCインタークト委員長

目的:年度初旬に、顧問教師と各提唱RCインタークト委員長とで本年度の方針と活動内容等を確認する。

2) 指導者講習会

(例年 7月下旬~8月上旬の土曜日または日曜日)

参加者:IAC会長・副会長・幹事等役員、

顧問教師、提唱RCインタークト委員長

目的:新役員対象の研修として、IAC指導者

同志の友好を深め地区内のIACの結束と交流を促進する。

3) 海外短期研修

(例年 3月下旬の木曜~土曜日 2泊3日)

参加者:各IAC代表アクター1名、顧問教師若干名

目的:海外での交流や体験を通して、国際理解・国際親善等の国際感覚を身につける

4) 年次大会 (例年 昭和の日)

参加者:IAC部員、顧問教師、提唱RCロータリアン

目的:各IACの年間活動報告と総括を行い、アクター同志の交流を深める

インタークトへのご理解のお願い

なかなかインタークトの活動は担当のロータリアン以外には理解されにくいものですが、将来のロータリアン候補を育てる大切な育成プログラムでもあるので、何卒ご理解をよろしくお願ひいたします。

< 第3187回 例会 記録 >

9月 19日(金) 夜間例会

・ロータリーソング

“それでこそロータリー”

会長の時間

小島 康匡 会長

こんばんは。本日、観月会に多数ご出席していただき、ありがとうございます。

“月々に 月見る月は 多けれど 月見る月は この月の月”(詠み人知らず)と詠われるように、昔から、旧暦の8月(新暦の9月)頃には、日本各地で月見の宴が開かれます。今年の旧暦の8月15日、すなわち“中秋の名月”は、今月の8日(月)でした。今年は天気も大変よかったです。美しい月を眺められた方も多かったことだと思います。また、翌日が満月で、例年よりも大きくて明るいお月さんが見られたと思いますが、新聞報道によりますと、その日のお月さんは“スーパームーン”と呼ばれていることを後になって知りました。日本よりも、旧暦の風習を今も伝えている韓国や中国、台湾では、中秋十五夜(じゅうごや)が祝日になっているようで、家族揃って月明かりの宴を楽しむようです。

ところで今夜の観月会ですが、肝心のお月さんはまだ出でていません。天文年鑑によりますと、夜中の12時を過ぎないと出て来ないようで、お月さんなしの観月会になってしまい、大変申し訳ありません。次回は必ず事前に天文年鑑を見て、観月会の日程を決めるように申し送りをしたいと思っています。

小倉RCで初めて観月会が開かれたのは、昭和32年9月7日で、場所は到津遊園地だったようです。その時は「観月家族会」と呼ばれていました。そしてその次に観月会が行なわれたのは、8年後の昭和40年9月9日、場所は小倉玉屋で行なわれています。その当時はまだ、観月会も定例のものになっておらず、夏の8月、9月頃には、「納涼家族会」と称した夜間例会などが行なわれていたようです。

そして、現在のように「夫人同伴観月会」が定例行事として行われるようになりましたのは、今田会長・

上瀧口幹事さんの時代からで、昭和59年9月14日に九州厚生年金会館にて賑々しく開催されたとあります。それ以降今日までの30年間、毎年、概ね9月に観月会がいろいろな場所において開催されております。

本日は、ゲストとして、二胡奏者 帯金真理子(おひかね まりこ)さん、そしてキーボードの谷口淑子(たにぐち としこ)さんをお招きしております。帶金さんは2年前の年忘れ年末夜間例会でも演奏していただきましたので、覚えておられると思いますが、今宵も素敵な二胡の演奏をお聞かせ願えると思っておりますので、ご期待下さい。

幹事報告

角南 幹事

・広島豪雨災害の募金箱では、ご協力を有難うございました。44,000円が集まりましたので、ガバナー事務局へ送金致しました。

・グローバル補助金申請中の富岡慎一さんから、お礼のメールを頂きました。現在ボストンにて元気で頑張っているそうです。

・秋のロータリーデー“清掃登山”に多数のご参加をお願いします。当日欠席の方でも、お知り合いの方にご参加していただく等、ご協力ください。

出席報告

岩辺 委員長

2014年7月1日：59名でスタート

会員数	本 日 出席者数	出席率	前々回修正 出席率
65名	34名	58.62%	93.22%

◆ビジター 18名 (サインのみ)

◆ゲスト 0名

◆ご夫人 8名

[小島、天ヶ瀬、木曾、重松、筒井、原田(光)、増田(真)、村上(充)会員のご夫人及び同伴者]

委員会報告

社会奉仕委員会

仙 副委員長

明日、20日(土)第3土曜日恒例の早朝清掃を行います。小倉駅前6時にご集合下さい。私は所要で欠席になり申し上げにくいのですが、奮ってご参加の程お願い致します。

親睦活動委員会

前川 委員

・先週皆様のBOXにご案内を入れました「春秋会ゴルフコンペ」ですが、日程が変更になりました。10月26日(日)から12月14日(日)7時40分集合に変更します。場所は、小倉カンツリー倶楽部です。懇親会だけのご参加も歓迎ですので、奮ってご参加ください。

・本日、平島会員より日本酒「丹山」を寄贈頂いています。

ニコニコ献金

東 副SAA

13,000円 : 累計金額 201,480円

村上 充生 君

観月会なのに月が無いとお叱りを受けそうです。私の頭でご勘弁ください。

平島 孝三郎 君

西部ガスの硬式野球部が11月1日からの社会人野球日本選手権に出場することになりました。3年目にしての出場に、会社は慶びに沸いています。

中村 文彦 君

荒木先生、先日は眼治療有難うございました。今日はお酒は程々にしておきます。飲んだらダメですか。

田中 信也 君

・先日の楽馬会、第4レースで人生初の万馬券当りました。ボックス買いの方法を教えて頂いた重松場長に感謝。

・木曾さん、盲導犬の本ありがとうございました。

夫人同伴観月会



ホテルアルモニーサンクにおいて観月会が開催されました。今年の仲秋の名月は9月8日(月)、月が地球に接近し通常よりも大きく輝いて見える“スーパー・ムーン”は9月9日(火)で、当日19日は生憎の空模様でしたが、Mr&Mrs 8組を含む43名が参加しました。会場内テーブルには満月(?)もちらほら臨める和やかな雰囲気の中、地元北九州在住の二胡奏者 帯金真理子さんとキーボード奏者 谷口淑子さんのお二人による“月”に因んだ楽曲で宴が始まりました。しつとりとした“荒城の月”からエネルギッシュな“賽馬”まで、聴く人それぞれに月の風景が浮かびあがり、余韻に浸るうちに会食がスタート。



原田 PG の発声で乾杯の後は、随所に秋の味覚を探り入れたお食事とお飲物で歓談です。

毎週金曜日の例会で顔を合わせているメンバー同士ですが、やはりアルコールが入ると更に打ち解けて、中にはビール瓶を手にテーブルを移動し親交を深める会員も。普段は男性ばかりですが、着飾った女性をお迎えすることで宴席は華やかなものとなり、あつと言ふ間に2時間が過ぎました。



た二村会員も男気を見せていたとき、伴奏なしで力強く歌いあげて盛り上げていただきました。

【報告者・東】

小島会長の閉会の挨拶の後には、あちこちから二村会員の“皆の衆”に対するリクエストがあり、これには最初は固辞され



小倉駅前早朝清掃 報告

日 時：8月20日（土）6時5分～（6時集合）

場 所：小倉駅前

参加者：小島、角南夫妻、高山、原田（光）、八尋、末廣、前川、増田（眞）、松永、田中（信）、古賀、合馬、藤田、事務局、小倉工業高校教諭1名、生徒10名

脂がのっていて香ばしく焼いた鮭と新鮮な生卵と海苔、あったかいご飯とちょっと贅沢にあさりの入った味噌汁。北九州のソウルフードと言われている『資さんうどん』の朝食メニュー、なかなか食べる機会がないけれど早朝掃除の一番の楽しみです。

皆さんと一緒に笑顔で社会奉仕活動してきました。早朝掃除と皆で食べる朝食は『今日も一日頑張ろう！』とスイッチがはいる瞬間です。

私の隣人は『かつカレー』その隣は『牛丼』を食べて朝の活力スイッチを入れていました。いい一日のスタートでした。ありがとうございます。

次回は10月18日（土）です。多くの会員の皆様の参加をお願いします。

【報告者・松永会員】



【次回例会予告】

10月 3日（金）普通例会

・国歌斉唱

・ロータリーソング

“我らの生業”

・日本中央競馬会 小倉競馬場長

重松 裕之 氏

『競馬と柔道、凱旋門への挑戦』